

令和元年度 園芸特産業関係功労者表彰 受賞者功績概要

1 飯田 好輝（佐久市）

- 養殖業のリーダーとしての自覚のもと、鯉や信州サーモンなど特産魚の生産振興に努めてきた。（現職：「佐久養殖魚業協同組合組合長」、「佐久養魚消費拡大推進委員会委員長」、「信州サーモン協議会副会長」他）
- 特産魚である鯉では、佐久養殖漁協組合長4年目の2008年に地域団体商標「佐久鯉」の取得の他、近年は伝統的な料理に加え「熟成刺身」の普及にも取り組み、生産振興と消費拡大に寄与している。
- 養殖の難しいシナノユキマス商業養殖に1983年に県内で初めて成功し、その後実需者への売り込みや、生魚に加え冷凍加工品も開発するなど消費拡大に取り組み、首都圏での高い評価と安定供給に貢献している。

2 松本市農協ねぎ部会（松本市）

- 信州の伝統野菜「松本一本ねぎ」の振興を目指し、松本市農協蔬菜部会から独立し2006年より活動を始める。
- 種の保存と品種特性を発揮する伝統的栽培技術の継承により生産の安定につなげてきた。（生産量 H18：8t⇒H30：16t 生産者数 H18：18名⇒H30：29名）
- J A女性部と連携した食育活動による地元での認知度向上や地元食品業者の商品開発への協力と商品化、商標「まがりちゃん」の登録や栄養機能食品表示販売、地理的表示（GI）取得申請などブランド化につなげた。
- 将来を見据えた取組により安定した生産と販売を確立し、伝統野菜による地域の活性化につなげるモデルとなっている。

3 特定非営利活動法人（NPO 法人）風とみどりの会（長野市）

- 平成16年に、定年後の第二の人生を地域の農業に役立てたいとの思いを持つ有志により発足した。（R1会員数：正会員10名、準会員8名、賛助会員40名）
- 特産である「川中島白桃」をはじめ桃や地域農業の基盤を次世代につなげることを目的とし、桃の生産受託を主体に作業援助（無償で摘果、袋掛け、収穫など）、地元加工グループへの原料供給、J Aの食農活動の支援、里親制度に登録し研修生の受入れなど幅広く活動し地域の農業基盤の維持に貢献している。（桃受託面積 1.3ha）
- 法人化により安定した組織性のある活動を実践し、それぞれ無理せずできる範囲で人生に楽しみを持ちながらの活動となっており、新たな園芸産地の維持発展につながるモデル的な活動となっている。

4 吉家 一雄（中野市）

- 「赤果肉」りんご育種の先駆者として、近年の関心の高まりや調理・加工分野の需要拡大に寄与している。
- りんご経営と並行した育種歴は35年に及び、これまでの登録品種数は6品種となっており、いずれの品種も完成度が高く、そのうち一つは県の試作品種にも取り上げられている。
- 品種特性や栽培技術情報の積極的な開示による普及や、実需者に対する直接取引や市場経由の販路拡大にも取り組み、今後の振興に努めている。
- 今後の本県りんご産業にとって注目される活動となっている。

受賞者の皆様のご紹介をいたします。
お手元の資料の14ページをご覧ください。

初めに 佐久市 の 飯田好輝 様です。

飯田様は、長年にわたり鯉など地域特産魚振興に取り組まれてきました。また、1983年にシナノユキマスの商業養殖に県内で初めて成功し普及に尽力され、今日のシナノユキマスの生産安定に貢献されました。

次に 松本市の 松本市農協ねぎ部会 様 です。

信州の伝統野菜「松本一本ねぎ」の種の保存と技術の継承、将来を見据えたブランド化など様々な活動により生産振興に貢献されました。本日は代表の 青木秀夫 様 がご出席になっております。

次に 長野市の 特定非営利活動法人 風とみどりの会 様です。

定年後の第二の人生を地域の農業に役立てたいとする皆様が、特産の川中島白桃など桃を中心とした園芸産地の維持発展に貢献されています。
本日は代表の 北澤誠 様 がご出席になっております。

次に 中野市の 吉家一雄 様です。

りんご経営と並行して35年にわたり取り組まれた「赤果肉」りんごの育種において、先駆者として、本年までに6品種を登録されました。また生産拡大にも取り組まれ、これからの本県りんご産業のへ一層の貢献が大いに期待されるものです。

以上4名の受賞者の皆さまの功績概要をご紹介いたしました。